

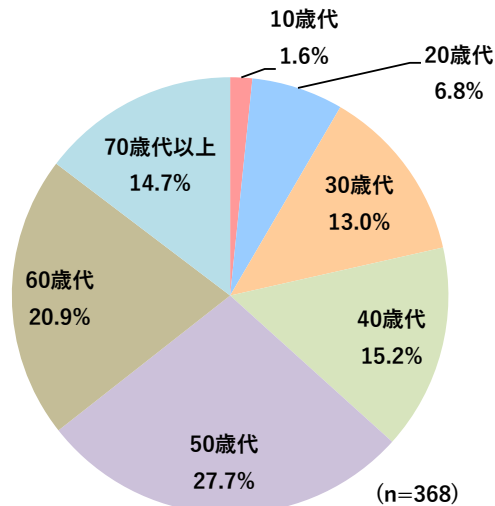
隠岐の島町立小中学校のあり方に関するアンケート 集計結果

1. 調査実施概要

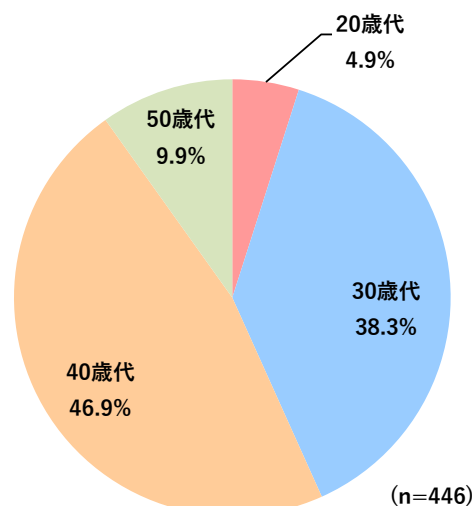
調査期間	町民向け : 令和8年2月25日（水）～3月26日（木） 保護者向け : 令和8年2月12日（木）～3月20日（金） 児童・生徒向け : 令和8年2月12日（木）～2月27日（金）
配布方法・回収方法	Web回答フォーム（町民向けのみ一部紙回答）
回答数	町民 : 368件（うち紙回答13件） 保護者 : 446件 児童 : 272件 生徒 : 285件

<回答者の年代>

■町民向け



■保護者向け

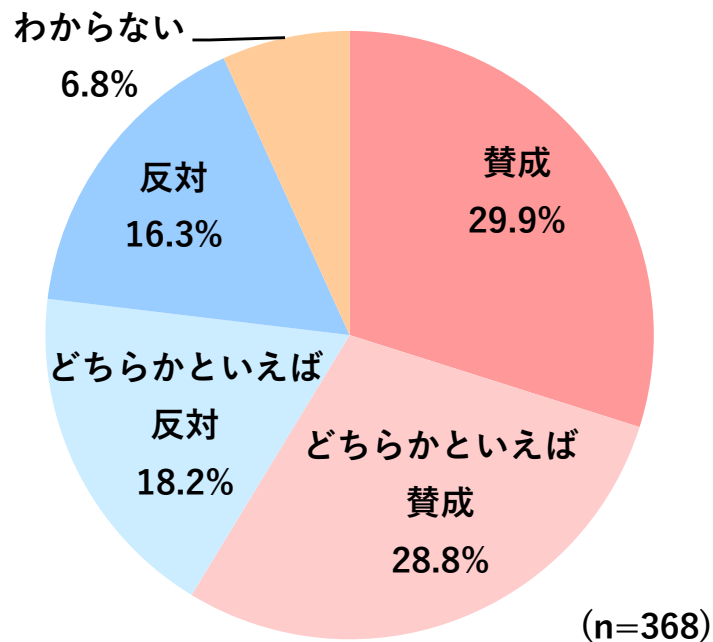


年代	回答数（件）	
	町民向け	保護者向け
10歳代	6	0
20歳代	25	22
30歳代	48	171
40歳代	56	209
50歳代	102	44
60歳代	77	0
70歳代以上	54	0
合計	368	446

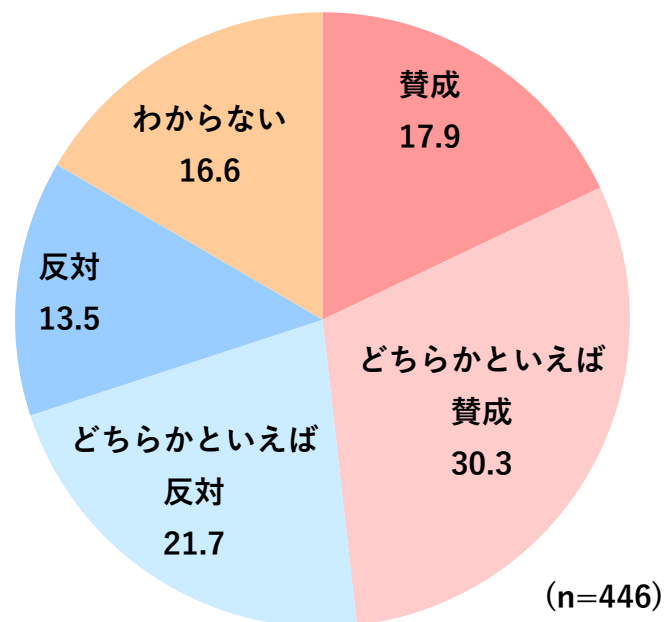
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校> 検討結果の内容に関する賛否

■町民向け

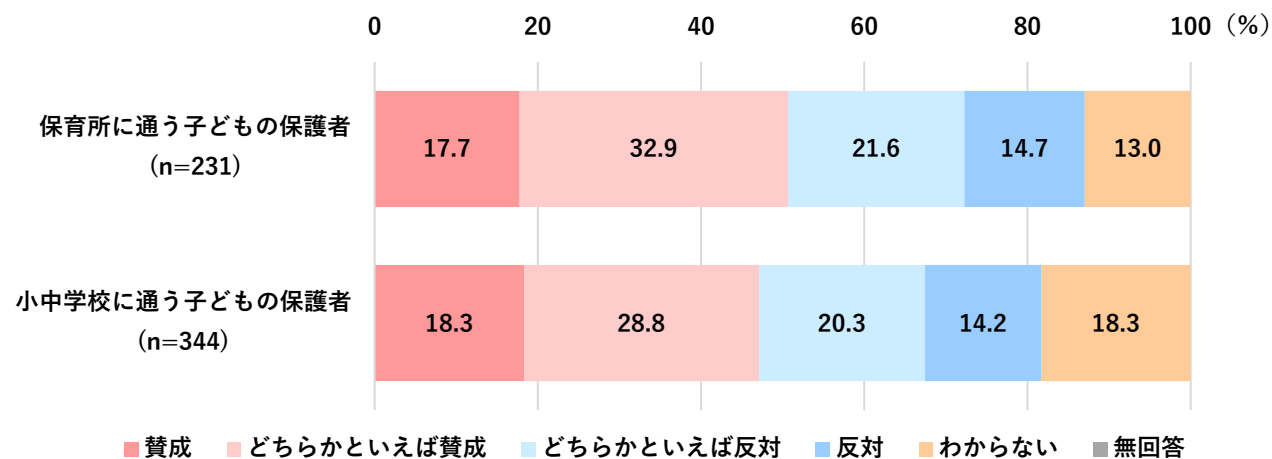


■保護者向け



2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

< 小学校 > 検討結果の内容に関する賛否（保育所・小中学校の保護者別）



2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校> 検討結果の内容に関する賛否の理由

■町民向け

【賛成】

児童の社会性や多様な人間関係を育むため、一定規模の集団での切磋琢磨が必要不可欠だとする意見が大多数を占めている。また、少子化や財政状況を現実として受け止め、教育環境の維持には統合が避けられないと評価する声も多い。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 隠岐の子供たちには多様な人間関係、規模の大きな集団の中での切磋琢磨が必要であり、多面的な視点で思考し、錯誤しながら、たくましく生きる力を身に付けてほしいと思います。（西郷小学校区、50歳代）
- ・ 同級生が少ないのは寂しいので、統廃合には賛成。学校までの距離が遠いという声もあると思うが、自分が住んでいる地区からは特に支障はないと思うので気にならない。ただ、島内に小中2校ずつしかなくなること、地区との交流が減るかもしれないことについては、寂しいなと思う。（中条小学校区、20歳代）

【どちらかといえば賛成】

児童数減少を踏まえて統合はやむを得ないと現実的に受け止める意見が多い一方、新設校舎の建設費用を懸念し「既存校舎を改修・活用すべき」との要望が目立つ。地域の活力低下や通学負担に配慮しつつも、集団生活の経験を優先している。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 子どもたちの現在、今後の人口動態を考えると、町内2校が望ましいと考える。ただ新設ではなく、既存の廃校となり得る建物の改修が望ましい。（西郷小学校区、50歳代）
- ・ 生徒数が少なすぎることの弊害が大きいと感じるが、具体的な統合方法や時期については、若い人たちの意見をきちんと反映させることが必要。統合することで、通学の方法や時間が限られ、かえって「できない」事が増えるようなことがあってはならない。また、子どもたちが住んでいる地域との関わりを重視した教育や、地域振興なども併せて計画した上で実施する必要がある。（五箇小学校区、60歳代）

【どちらかといえば反対】

地域から学校がなくなることによる過疎化の加速への懸念が強く、新設校舎の建設にも批判的で、既存施設の活用を求める声が多い。「1学級20人以上」という基準への疑問や、長距離バス通学の負担を重く見る意見も目立っている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 郡部に小学校が無くなると過疎化に拍車がかかる 町内に集中しなくても良い（西郷小学校区、70歳以上）
- ・ 子どもに集団の保障された環境は確保してあげたいが、2校にするとますます少子化が進み、いずれ現在の集団ですら組みなくなる悪循環を生まれるのではと懸念するため。（中条小学校区、50歳代）

【反対】

学校の統合が「教員や若者の流出＝限界集落の消滅」に直結するという危機感があり、学校集約の前に人口増加策に注力すべきとの意見が見られる。これまでの少人数教育の成果を評価し、規模拡大による画一化や質の低下を懸念している。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ めざす子ども像達成のためとあるが、一学級当たり20人以上の根拠はどこから来るのかこの資料だけでは全くわからない。少人数でも、命の大切さ、人間としての感性、基礎学力、社会性などは十分学ばせることができるはずである。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 学校の統廃合は、限界集落を消滅集落へと導く、大きなインセンティブになるから、です。（中条小学校区、70歳以上）

2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校> 検討結果の内容に関する賛否の理由

■保護者向け

【賛成】

児童の社会性の発達を重視し、多様な人間関係の構築や切磋琢磨できる環境を求める意見が大多数である。また、少子化という現実を踏まえ、教員や保護者の負担軽減などの観点から統合を支持する声も多い。

●主な意見

- ・ ある程度児童数がいた方が人間関係の構築などできて良いと思います。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 少子化が進み、同級生が5人未満であるため。複式学級で他年代の学習をするよりも、統合して多様性や自学年の学習を深めてほしいと願うため。（都万小学校区、30歳代）

【どちらかといえば賛成】

人口減少を踏まえて統合はやむを得ないと現実的に受け止める意見が中心である。遠距離通学への不安や少人数教育の良さが失われるデメリットに配慮しつつも、総合的に判断して賛成としているのが特徴。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 減少する児童数に対して、致し方ないと思います。（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 少人数の小学校では手厚く細やかな指導が受けられる反面、子どもたちの関係性や活動を見ると、やはり適正な人数がいる方が子どもたちにとって良いのでは？と感じることがある。（中条小学校区、40歳代）

【どちらかといえば反対】

学校喪失による地域衰退への不安や、地域を活かした学習機会の減少を惜しむ声が挙がっている。また、中心部から離れた地区の児童の遠距離通学や、保護者の送迎負担増、バス運行の金銭的負担を懸念する意見が目立つ。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 人数が少ないことのよさもあること、学校がなくなることによって地域がさみしくなること、また、その地域を活かした学習も少なくなると思うから。（中条小学校区、30歳代）
- ・ 登下校の送迎や、見守り等の親の負担が大きくなる。特に中心部から離れた地区に在住している家族に優しくない案だと思う。バス通学がほとんどになってしまった場合、運営の金銭的負担はどうなるのか。（西郷小学校区、30歳代）

【反対】

学校消失による地域の限界集落化に対する危機感と、現在の地域密着型の少人数教育を高く評価する声が顕著である。規模拡大による画一的な教育や、長距離通学が児童に与える悪影響を懸念している。

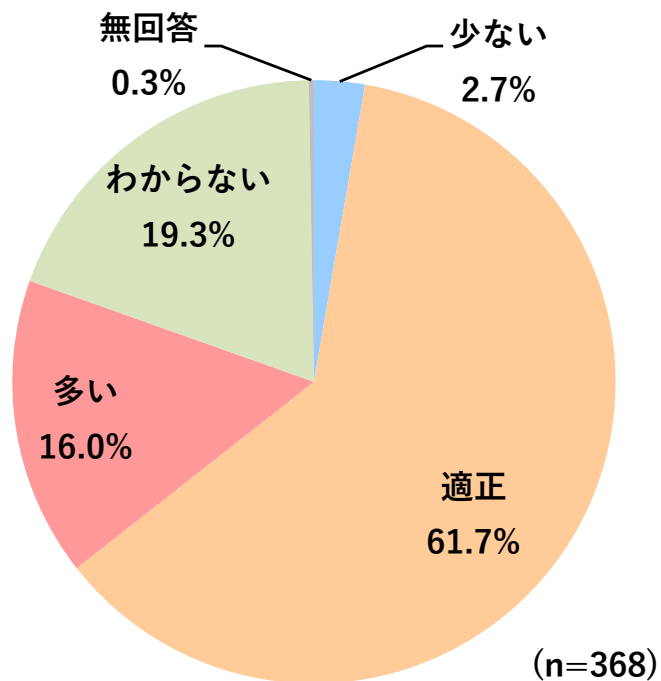
●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 各学校での特色が失われ地域で子どもたちを姿を見る機会も激減し寂しくなる。特に郡部はより顕著となり将来的に旧西郷町に人口集中してしまった場合、郡部に定住するメリットもなくなり、結果的に集落の孤立化を招く原因になる。（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 人数が少ないことでのメリットもある。今の時代、グレーゾーンと言われる子供達が増えている現状でそういった子供達が救われる環境も必要ではないか。人数が多いことでそういう子が埋もれてしまう可能性が多くなることも事実ではないでしょうか。（有木小学校区、40歳代）

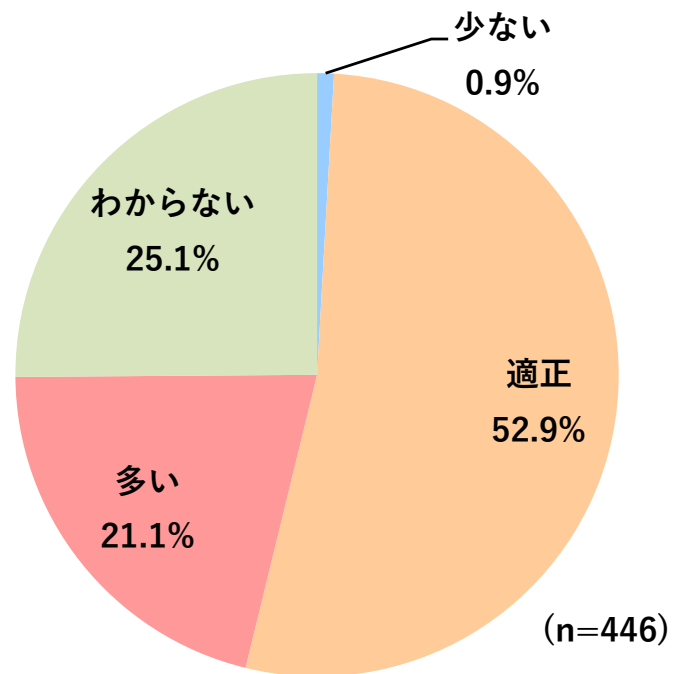
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校> 適正規模に関する考え方

■町民向け



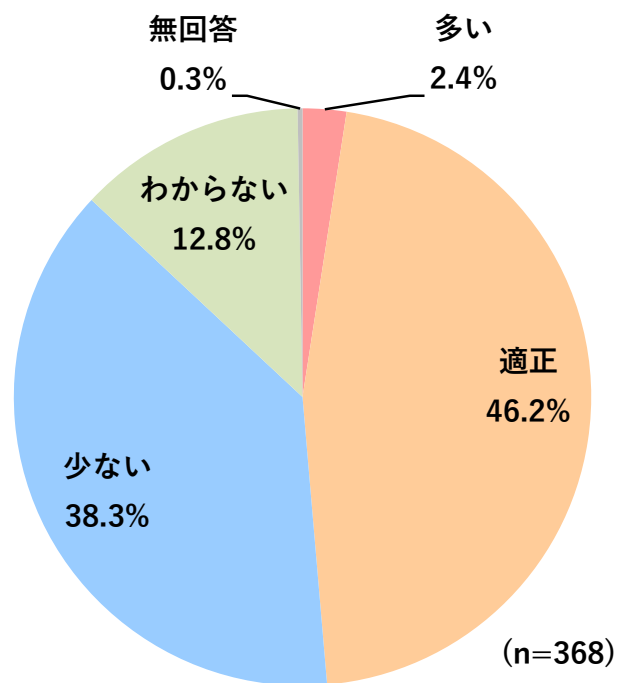
■保護者向け



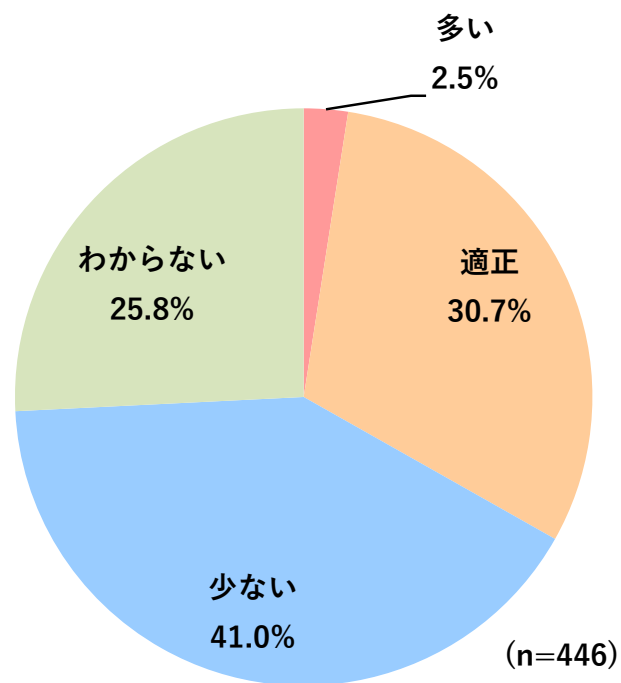
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校> 学校数に関する考え方

■町民向け



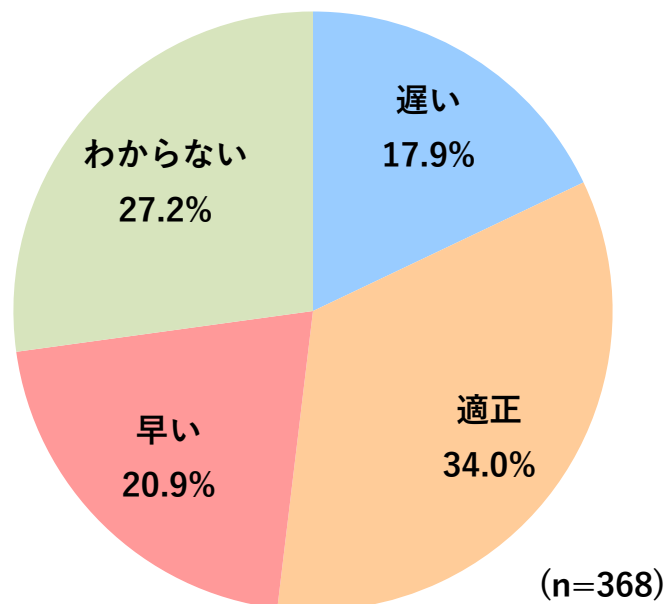
■保護者向け



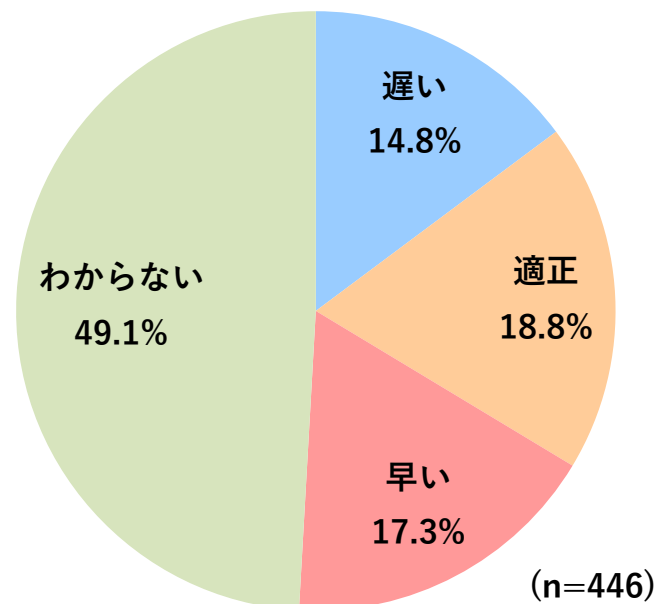
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校>統合時期に関する考え方

■町民向け



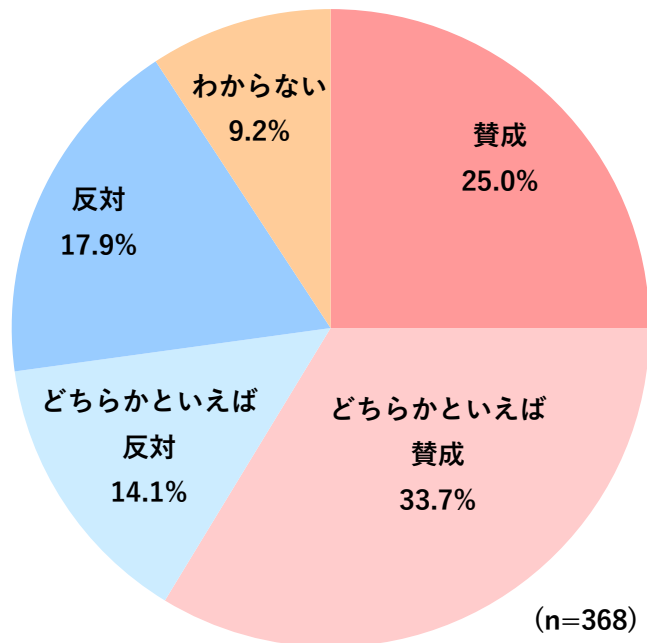
■保護者向け



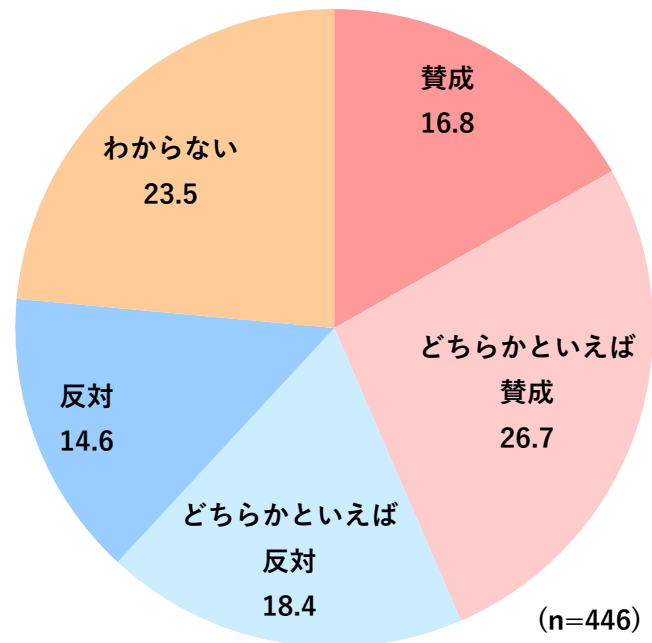
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<小学校>新設校舎の場所に関する考え方

■町民向け



■保護者向け



2. 調査結果詳細

<小学校> 適正規模・統合時期・新設校舎の場所に関するご意見

■町民向け

【賛成】

早期の統合や新設を支持する一方で、新設校舎ではなく既存校舎（磯小、中条小、有木小など）の再利用を求める声や、跡地利用など税金の使い方への懸念が多く見られる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 新設はありえない。小学校は磯小学校 中学校は南中を利用すべきだと思う。（西郷小学校区、60歳代）
- ・ 場所に関しては、統合する事で保護者の送迎負担が増加することは必至である。その点を勘案すると直接送迎の他、キスアンドライドのような今までとは異なる登下校手段の設定が必要になるため、周囲に学校用地が十分にある事が要件となる。また、その交通に関する用地取得の容易性等(相続)も勘案しなければ新設校の設置予定時期が延期される可能性も高くなるため、学校用地については事前調整なしに(現在校舎の中間地付近がいいだろうという)設置位置ありきで推進する事は危険。（磯小学校区、30歳代）

【どちらかといえば賛成】

統合自体には理解を示すが、新設校舎の莫大な建設費用を懸念し、「既存校舎（中条小など）を活用すべき」という要望が多く見られる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 人数が減っているのに新設校舎をわざと作るのはお金の無駄だと思います。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 生徒数が少なすぎることの弊害が大きいと感じるが、具体的な統合方法や時期については、当事者となる若い人たちの意見をきちんと反映させることが必要。統合することで、通学の方法や時間が限られ、かえって「できない」事が増えるようなことがあってはならない。また、子どもたちが住んでいる地域との関わりを重視した教育や、地域振興なども併せて具体的に計画した上で実施する必要がある。（五箇小学校区、60歳代）

【どちらかといえば反対】

郡部の過疎化や低学年児童の遠距離通学（バス通学）への不安が強く、2校への集約ではなく3校～4校程度残すべきだとする意見や、新設反対・既存校舎活用を求める声が目立つ。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 子供が減っていくという結果が出ているのに新設する費用がもったいない。1つの学校に集めてその費用をスクールバスなどに当てればいい（西郷小学校区、10歳代）
- ・ 小学生特に低学年での長時間になる自動車通学が心配。冬は峠を超える雪道等がある。（都万小学校区、50歳代）

【反対】

「1学級20人以上」という適正規模の基準への疑問や、統合による郡部の限界集落化・人口流出への強い危機感が根底にあり、地域に学校を残すべきだと主張している。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 1学級 あたり20人規模が望ましいということの根拠が乏しいです。小さい学校には小さい学校なりの魅力や強みがあるはずです。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 小学校、中学校の一学級の人数だけで集約を議論すべきで無く、地域の衰退も考慮すべきと考える。（五箇小学校区、70歳以上）

2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

＜小学校＞適正規模・統合時期・新設校舎の場所に関するご意見

■保護者向け

【賛成】

早期の統合や新設を支持する一方で、新設校舎ではなく既存校舎（磯小、中条小、有木小など）の再利用を求める声や、跡地利用など税金の使い方への懸念が多く見られる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・地域と現保護者の考え方に差があると思うが、教員の負担軽減や集約化のためにも早く統合すべきだと思う。延ばせば延ばすほどお金（税金）が必要になるのではないのでしょうか。（西郷小学校区、40歳代）
- ・小学校に関しては、使える校舎があればそちらを使う事が望ましい。無駄な建物ばかり増やさないで欲しい。（有木小学校区、40歳代）

【どちらかといえば賛成】

統合には一定の理解を示すが、新設校舎の建設費用への懸念が強く、既存校舎の再利用を求める声が圧倒的である。「西郷小も老朽化している」として、新設校との設備格差を懸念する意見も見受けられる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・新設しなくても、既存の（有木、中条、磯）の中で築年数が新しい学校を使えば、無駄もなく建てるより早く対応できると思う。（西郷小学校区、40歳代）
- ・子供が少なくなる中での検討であるのに、校舎を新設する必要は無いと思う。これまでに耐震工事などの改修がされていると思うので、既存の校舎（島の中心部の位置に中条小学校があるので中条小学校）を使用してはどうか。（有木小学校区、40歳代）

【どちらかといえば反対】

「1学級20人」という基準は担任の負担が重いのではないかという懸念や、「2校への集約は少なすぎる」と計画を不安視する意見が見られる。郡部児童の遠距離通学や冬場の送迎負担増を危惧し、放課後の預かり施設増設を求める声も挙がっている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・2校は少なすぎる、3校はないと遠方の家庭ができて冬場は特に困ることになると思います。放課後の預かり施設増設など検討していることはあるのでしょうか（西郷小学校区、30歳代）
- ・発達に課題のある子どもが増えている今、小学校担任の負担が増えているので20人でも多いのではと感じる。西郷小学校以外を全てまとめるのは、群部の子どもたちの通学の問題などに問題がありそう。（有木小学校区、30歳代）

【反対】

2校への統合や規模拡大に強く反対し、地域密着型の少人数教育を維持すべきだと主張している。新設校舎の建設は「無駄遣い」と批判され、郡部衰退への危機感や行政の説明不足に対する不満が強く表れている。

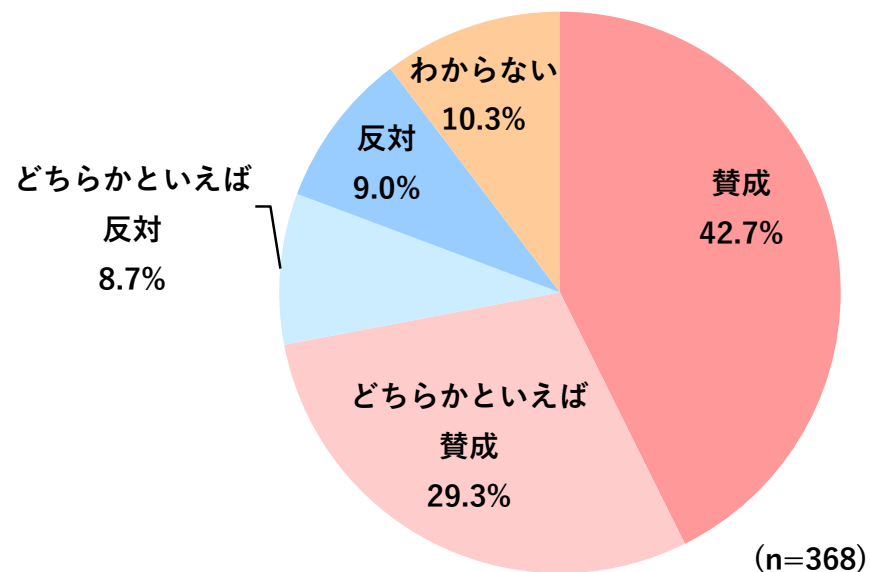
●主な意見（一部意見抜粋）

- ・新設校舎建設は反対です。お金をかける必要があるのか？既存の建物で工夫できないか？（西郷小学校区、40歳代）
- ・まずは少数の合併を考えます。いずれは1校になる予想もあるなら、なおさら新校舎は不要ではないのでしょうか。（中略）通学距離が、バスであっても遠すぎます。体調不良、災害時など、自宅から距離がある場合の対策についてまずは議論していただきたいです。（五箇小学校区、40歳代）

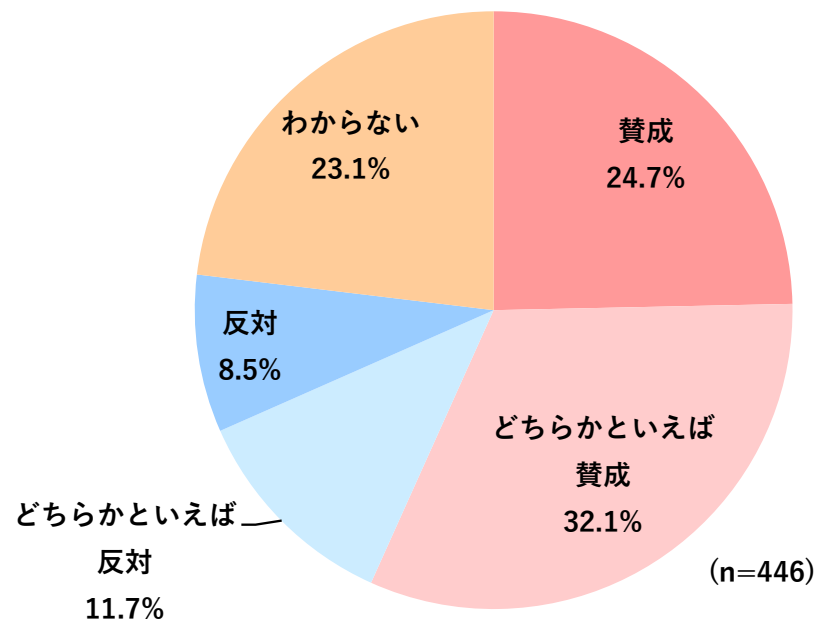
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校> 検討結果の内容に関する賛否

■町民向け

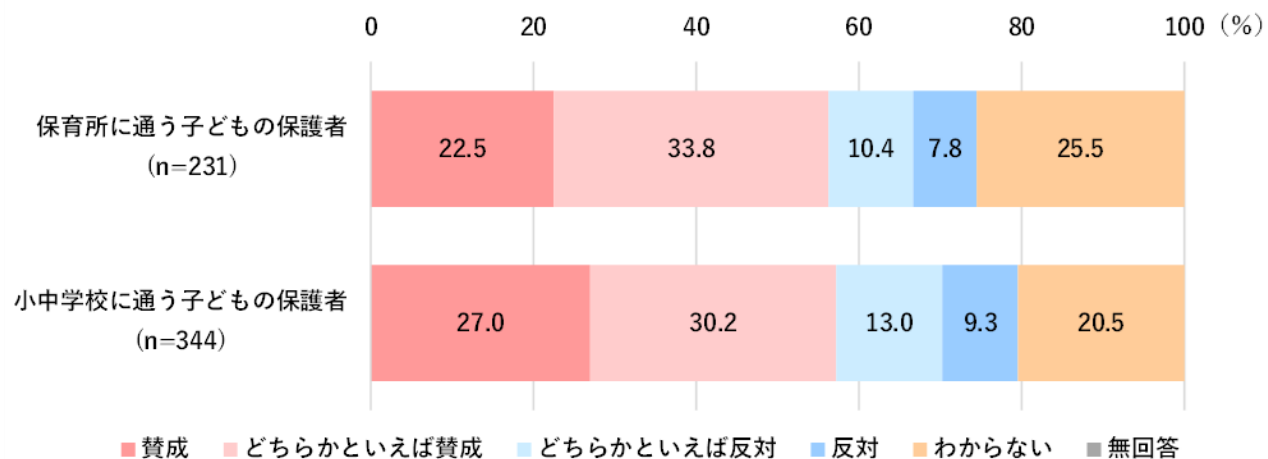


■保護者向け



2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

< 中学校 > 検討結果の内容に関する賛否（保育所・小中学校の保護者別）



2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

＜中学校＞検討結果の内容に関する賛否の理由

■町民向け

【賛成】

中学校生活において重要となる「部活動の選択肢拡大」や、多様な人間関係での切磋琢磨を期待し、適正規模の確保を支持する声が圧倒的である。少子化や教員不足の現状を踏まえ、持続可能な教育環境のためには学校再編が不可避であると高く評価している。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 中学校こそ多様な人間関係、切磋琢磨が必要だと思います。部活動に関しても選択肢が増えるし、部員不足の不安も軽減されると思います。学校数が2校になることで、隠岐の島町単一のクラブも設立しやすくなるのではと思います。（西郷小学校区、50歳代）
- ・ 五箇、都万中学校は人数が減っているようで、すでにやりたい部活が西郷にあるということで西郷中学校や南中学校に通っている生徒もおられるとか聞きますので、2校に絞っても良いかと思います（磯小学校区、60歳代）

【どちらかといえば賛成】

多様な考え方に触れる機会や部活動の選択肢の拡大など、集団規模が大きくなることによる教育的メリットを評価する意見が多い。「既存の学校を使っている」「仕方ない」など、現状やむを得ないものとして受け止める声も見られる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ ある程度の人数の中で過ごすことによって利点があると思う。部活動の選択肢が広がったり行事などもしやすくなると思う。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 生徒数が少なすぎることの弊害が大きいと感じるが、具体的な統合方法や時期については、若い人たちの意見をきちんと反映させることが必要。統合することで、通学の方法や時間が限られ、かえって「できない」事が増えるようなことがあってはならない。また、子どもたちが住んでいる地域との関わりを重視した教育や、地域振興なども併せて計画した上で実施する必要がある。（五箇小学校区、60歳代）

【どちらかといえば反対】

遠距離通学による子どもの身体的負担や保護者の送迎負担、部活動時間の減少を懸念する声が多い。また、地域から中学校がなくなることによって「郡部の過疎化がさらに進行する」といった地域社会の衰退を危惧する意見も目立っている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 郡部に住むこの保護者は送り迎えが大変。また、郡部の過疎化がさらに進行するのではと心配。（西郷小学校区、20歳代）
- ・ 子供の通学時間の増加。少人数だからこそ受けられていた学習面や学校生活面のカバーが難しくなること。（中条小学校区、30歳代）

【反対】

「少人数の方がきめ細かい指導ができ学力が高い」「人数が増えるといじめが増加する」など、現在の少人数教育を支持する声強い。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 2校作っても結局1校に集中してしまうのではないですか？現状も校区があっても無いのも同じで西郷に集中するのじゃないでしょうか（有木小学校区、70歳以上）
- ・ 五箇、都万に中学校をなくすと小学校も閉校になる可能性がある。小中一貫教育により、小規模校の弱点をカバーしながら、より質の高い教育を目指すべきである。（西郷小学校区、60歳代）

2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

＜中学校＞検討結果の内容に関する賛否の理由

■保護者向け

【賛成】

「多様な人間関係の構築」に加え、中学校特有の理由として「部活動の選択肢拡大や活性化」を期待する声が多。少人数による部活動の制限といった現状の課題を、統合によって解消してほしいという要望が中心である。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 小さい中学校だと一人一人の役割も大きくなるので大変。たくさんの人と出会い、それぞれが様々な役割を見出して小さな社会が築けたらその後の進路にも役立ちそうだから。（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 児童数が少ないと、部活やクラブが限られてくるので、入部したい部活がある中学校に進学しなければならない状態を解消してほしい。（有木小学校区、40歳代）

【どちらかといえば賛成】

部活動の選択肢増加を肯定的に捉える意見に加え、高校受験や将来の島外進学を見据え、「中学生の段階である程度の規模の集団で多様な人間関係に慣れておくべきだ」という将来を見据えた意見がみられた。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 学ぶ側は切磋琢磨する環境、小集団で起こりやすい固定の人間関係から多様性が生まれる。教える側もスタッフの充実で授業の質が上がり、集団を育てるノウハウを共有できる。（西郷小学校区、40歳代）
- ・ 少人数になるとできる経験も少なくなるし、その先、進学、就職でいきなり多数の人間関係の中に出るよりは、ある程度の人数で生活することに慣れてたほうがいいと思う。（有木小学校区、40歳代）

【どちらかといえば反対】

遠距離通学（冬場の送迎や自転車通学）への不安や、地域コミュニティの過疎化への懸念が挙げられている。また、1クラスの人数が多くなることによる教室の狭さや、個々の特性にあったきめ細かな学習指導が難しくなることを不安視する声もある。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ バス通学、自転車通学の増加にあたって、道路状況も悪く、冬場は特に送迎が増えるだろうことが予想される。加えて金銭的な負担面を熟慮すべき（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 1クラスの人数が30人を超えると教室が狭い。今の少人数ならではの良さ（親和的な雰囲気）が消える。（中条小学校区、50歳代以上）

【反対】

学校喪失による地域の衰退への強い危機感が根底にあり、1ターナー者減少など人口減少をさらに加速させる施策であるという意見が寄せられている。また、人数増加に伴う集団生活の弊害（同学年内の上下関係やトラブル等）を危惧する声も挙がっている。

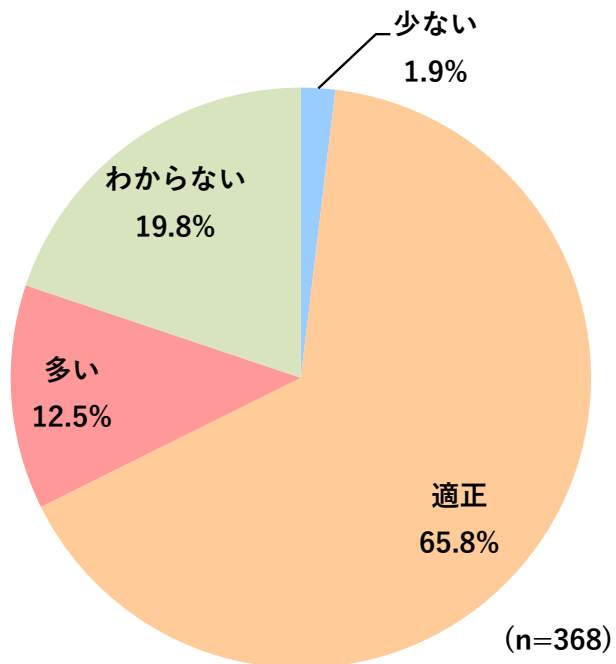
●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 人数が多いと集団にならないと行動できない子たちが増えやすく、同学年なのに上下関係もできやすい。（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 住んでいる地域から学校がなくなること、新しく住む人（特に1ターナー者）がその地域を選びにくくなります。人口減少がきっかけで行う施策が、人口減少を加速させることになり。全国的に減少にあることは仕方ないですが、なくすことは長い目で見た時に適切だと考えにくい。（都万小学校区、40歳代）

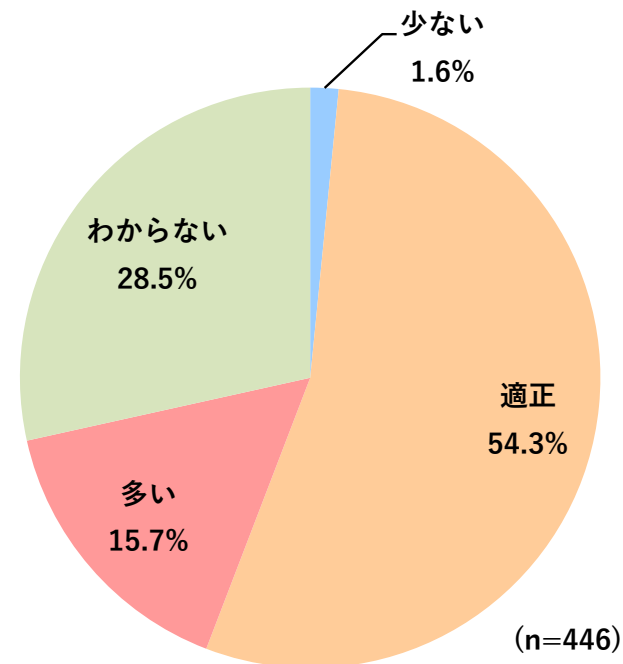
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校>適正規模に関する考え方

■町民向け



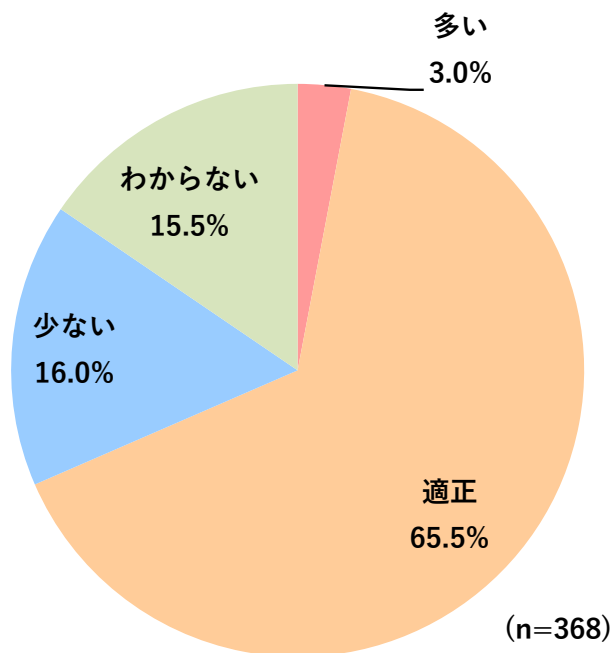
■保護者向け



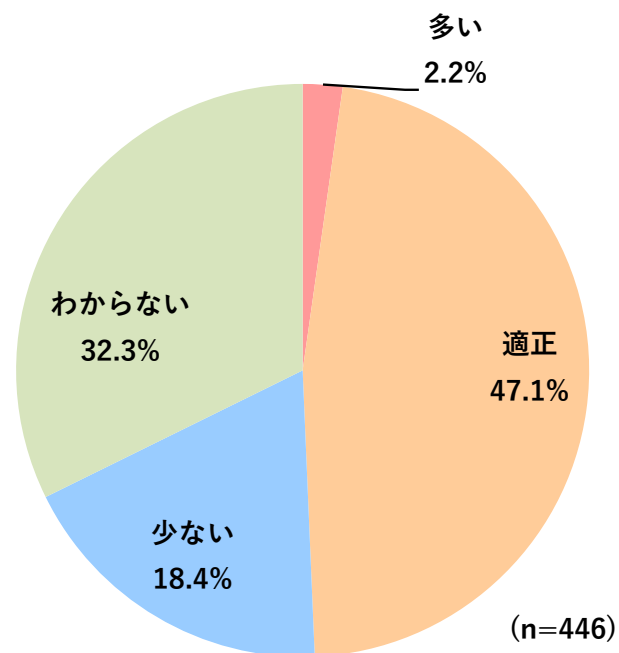
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校> 学校数に関する考え方

■町民向け



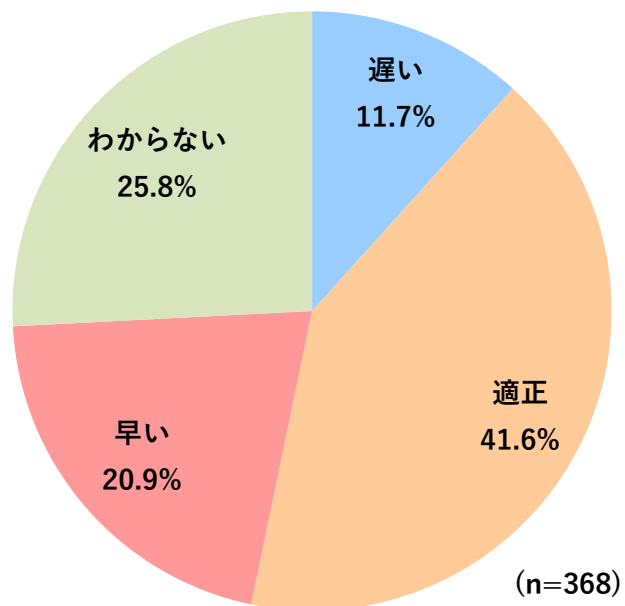
■保護者向け



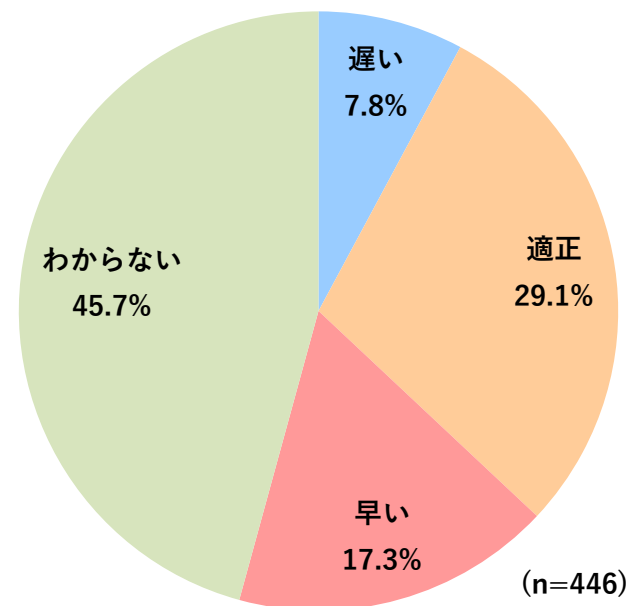
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校>統合時期に関する考え方

■町民向け



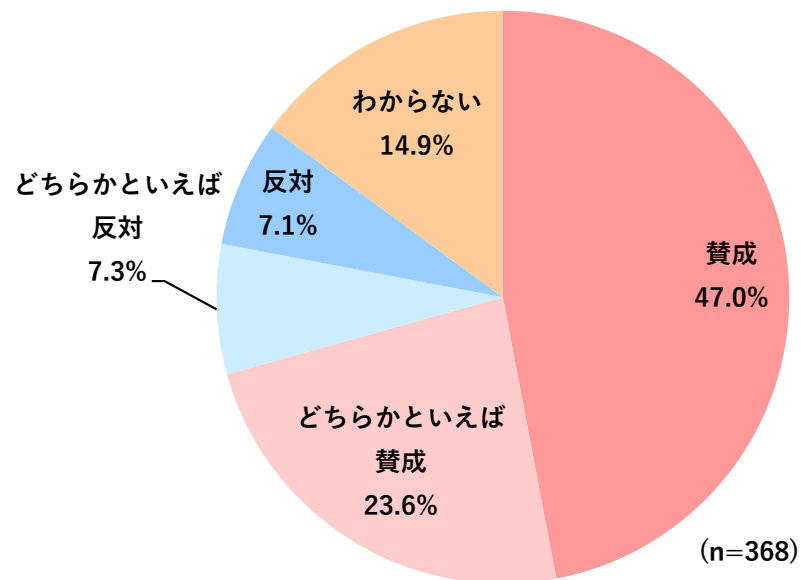
■保護者向け



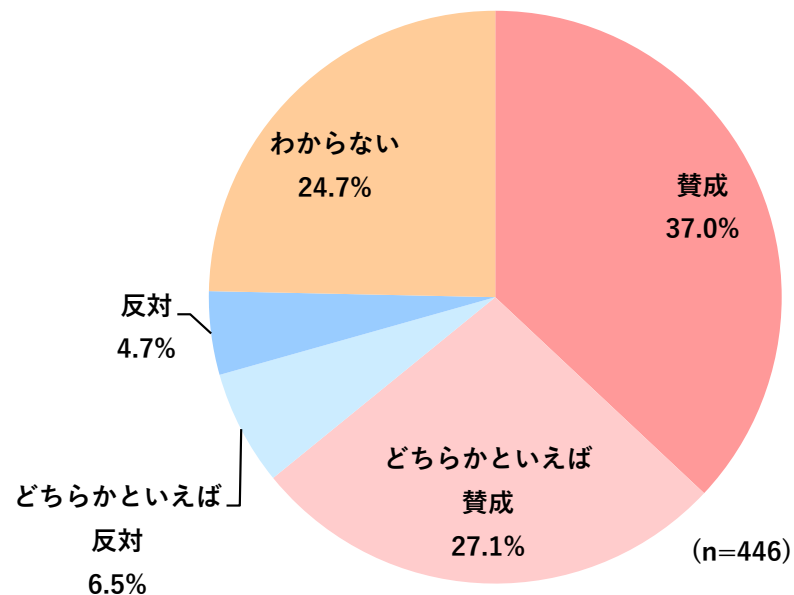
2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校>新設校舎の場所に関する考え方

■町民向け



■保護者向け



2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

<中学校>適正規模・統合時期・新設校舎の場所に関するご意見

■町民向け

【賛成】

既存の南中校舎の活用による早期の統合実現を支持しつつも、校舎の大規模改修やICT環境整備の必要性を指摘する声が挙がっている。また、統合時期に向けては、児童生徒の不安を取り除くための丁寧なルール作りや事前の環境整備を求める意見が多い。

●主な意見（一部意見抜粋）

- 校舎に関しては、西郷中・南中ともに大規模な改修が必要だと思います。教室、設備、共有スペース、ICTなど、現有のままでは、わくわくする学校とはならないのではないかと思います。（西郷小学校区、50歳代）
- 統合した時は、ルールは完璧に決まっていって周知もされていて親も子供達もある程度の不安は答えが示されていて、子供達の不安のケアに集中できる環境ができていく状況であってほしい。（西郷小学校区、30歳代）

【どちらかといえば賛成】

統合の方向性には理解を示しつつも、学校が西郷地区に集中することに対する郡部からの不公平感や通学負担を懸念する声が多い。「南中への登り坂が狭くて危ない」といった立地上の課題を指摘する意見もある。

●主な意見（一部意見抜粋）

- 南中は改修したので使うべきだが、国道？から学校までの登り坂が狭くて急なので改善すべきだと思う（中条小学校区、50歳代）
- 西郷地域にのみ中学校を固めるのではなく、他地域にもう一校を置く形がよいと思う。（西郷小学校区、50歳代）

【どちらかといえば反対】

「25人以上が適正規模」という基準に疑問を呈し、少人数教育の良さを残すべきだとする声が根強い。小中一貫教育や部活動の地域移行など、統合以外の方法で課題を解決できるのではないかという意見も見受けられる。

●主な意見（一部意見抜粋）

- 25人以上いないと学びにならないのか？2校になることが果たして良いのか、疑問に思います。（北小学校区、50歳代）
- 【適正規模】1学級あたりの人数は25人以上が望ましいという規定に納得がいかない。（中略）小中一貫教育を導入すれば小規模校でも良い教育はできる。部活動も地域移行すれば、学校を大きくしなくても、生徒は多様な部活を選択できる。できるだけ今の学校を残すべきである。（五箇小学校区、60歳代）

【反対】

統合時期が早すぎるとの批判や、現在の4校体制を維持し小中一貫教育を推進すべきとの意見がみられた。「西郷地区に集めるのではなく郡部へ分散配置すべき」といった、一極集中を避ける抜本的な見直しを求める声も挙がっている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- 統合時期があまりにも早すぎます どうしてそんなに早いのですか。現在勤務している教員の人数のことなど考えたことがありますか。（西郷小学校区、40歳代）
- 中央ばかりへ集める考え方は改めるべきです。逆に周辺部へ分散配置する方法を考えるべきです。（五箇小学校区、70歳以上）

2. 町民・保護者向けアンケート調査結果

＜中学校＞適正規模・統合時期・新設校舎の場所に関するご意見

■保護者向け

【賛成】

西郷南中学校の校舎活用について、新設費用の抑制という観点から現実的であると評価する声が多い。一方で、活用にあたっては「進入路の拡張」や「送迎用駐車場の整備」など、アクセス面や安全面のインフラ整備が必須であると強く要望されている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 西郷南中学校の校舎活用は非常にいいと思うが、中学校の入口までの登り口の道路を拡張してもらわないと、狭すぎて困る。（有木小学校区、30歳代）
- ・ 新設校舎場所についてですが、西郷中学校、西郷南中学校ともに駐車場が少なく送迎問題がある。生徒数が増え規模が大きくなるとその問題がもっと問題化すると思われる。駐車場の整備は必須である。（磯小学校区、40歳代）

【どちらかといえば賛成】

既存校舎の利用には賛成しつつも、賛成派と同様に「道路や体育館の狭さ」といった設備面の課題を指摘する声が多い。生徒数が増加しても不便にならないよう、校庭や通学路の整備など「教育環境の事前準備」をしっかりと行ってほしいという意見が目立つ。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 南中を使うのであれば、自動車が通り抜けできるようにしたほうがいい。危機管理的に今のままでは不十分。体育館は狭い。（中条小学校区、50歳代以上）
- ・ この機会に小学校も中学校も生徒が安全に学べる過ごしやすい環境に再度見直してほしい。統合時期は早い方がよい気がするが、全てきちんと準備が整ってからがベストだと思う。（有木小学校区、30歳代）

【どちらかといえば反対】

遠距離通学となる郡部の子どもたちの通学手段（スクールバス等）や通学時間に対する不安が中心となっている。「具体的な通学環境の保障が示されていない」ことへの不信感や、1クラスの人数が多くなりすぎることへの懸念が挙げられている。

●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ きちんと各地から子供達を通う環境が整えられるのか不安です。（西郷小学校区、30歳代）
- ・ 通学する時間がかかり朝が早く出ないといけなくなったり、帰りが遅くなったりするのでは？（五箇小学校区、40歳代）

【反対】

学校が中心部に集中することに対する郡部（都万、五箇など）からの不満や反発が見受けられる。「南中学校は地理的な中心ではないため遠方の生徒に負担が偏る」といった地域間の不公平感や、小さい島だからこそ今の地域を残すべきといった声が挙がっている。

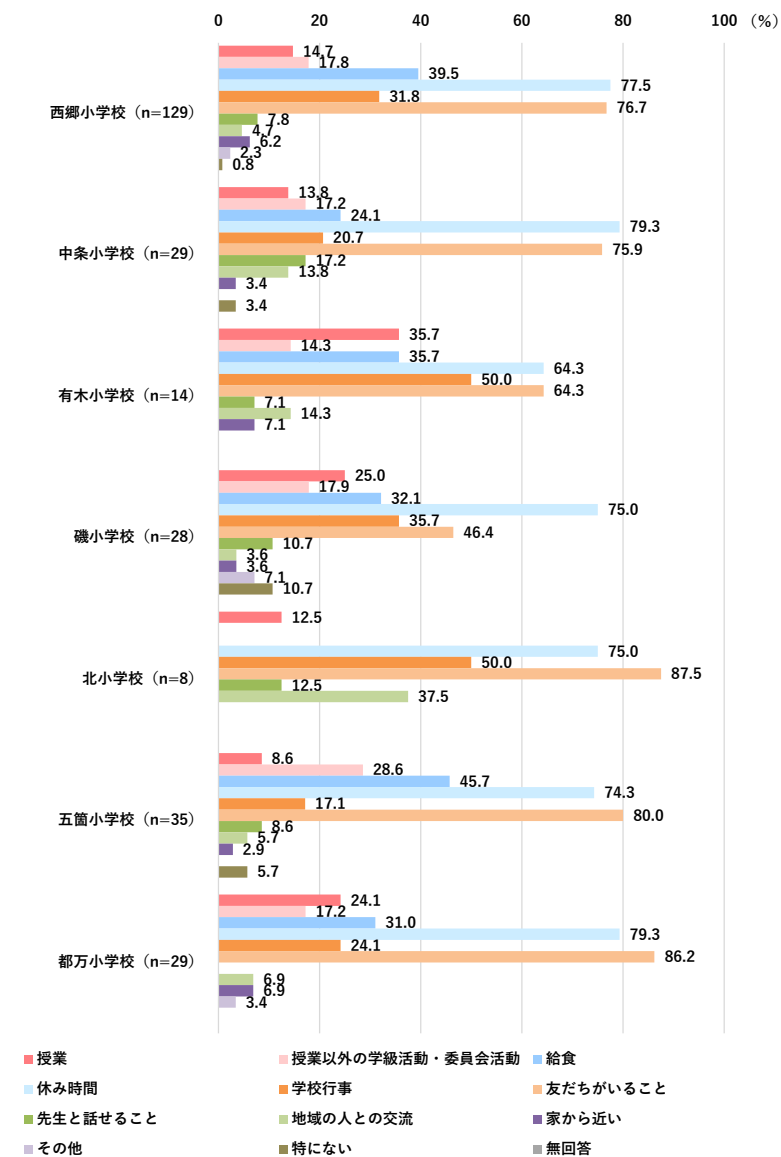
●主な意見（一部意見抜粋）

- ・ 南中学校は三校の中心ではないため、都万、五箇、布施、中村地区に住んでいる生徒、保護者に負担が大きい。（五箇小学校区、40歳代）
- ・ 新しく建てるというのであれば南中学校でもいいとは思いますが、やはり町内に集結すればいいという考えにはあまり賛成はできない。小さい島だからこそ、今ある現状で地域を残す事が好ましいと思う。高校生になれば義務教育から離れるので子供本人の意向を大切にしていけばいいと思う。（北小学校区、40歳代）

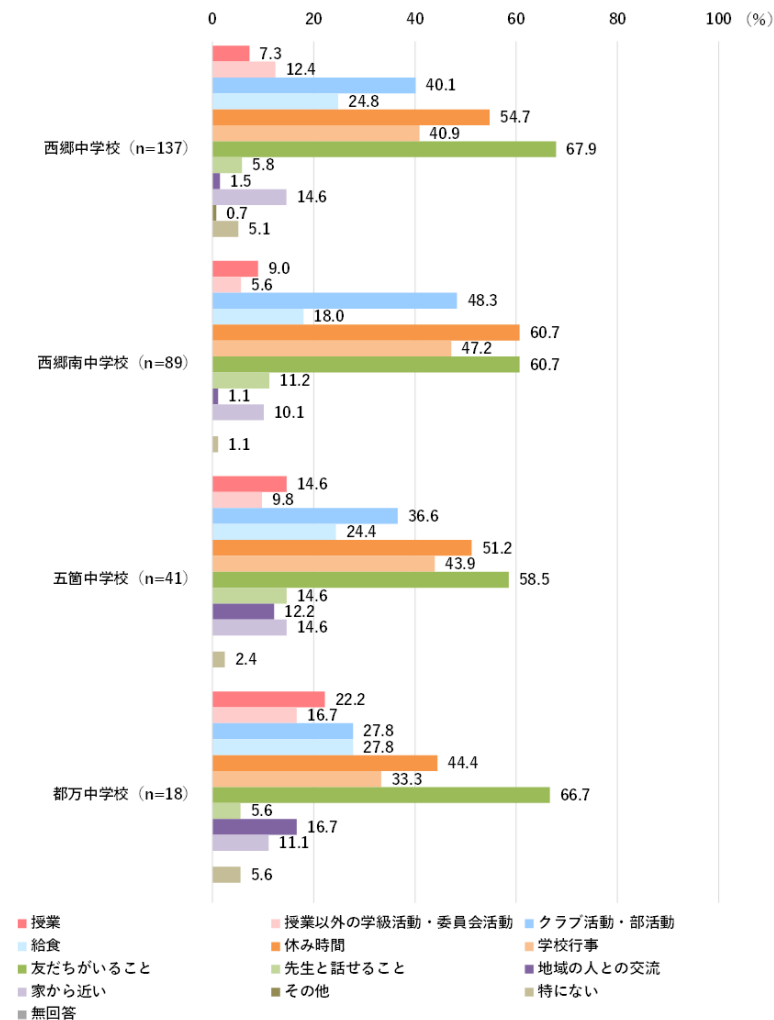
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

通っている学校のいい・好きなところ【授業や行事などについて】

■児童向け



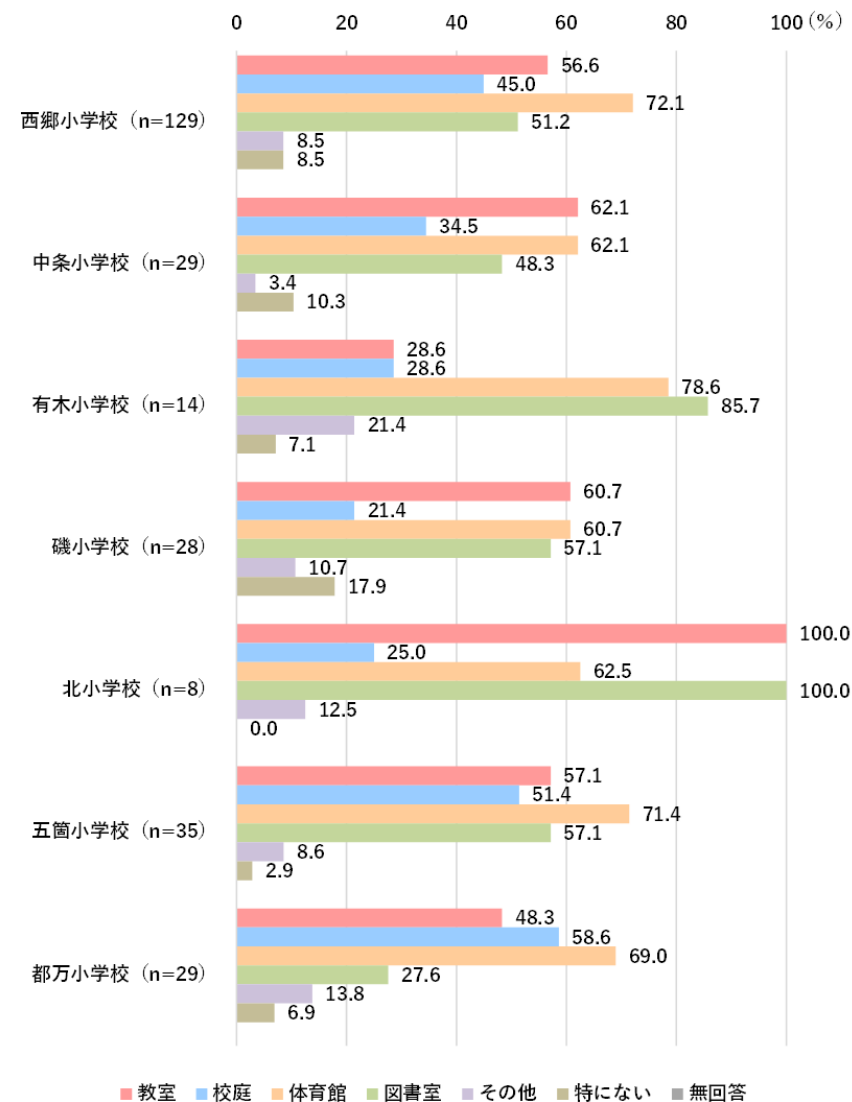
■生徒向け



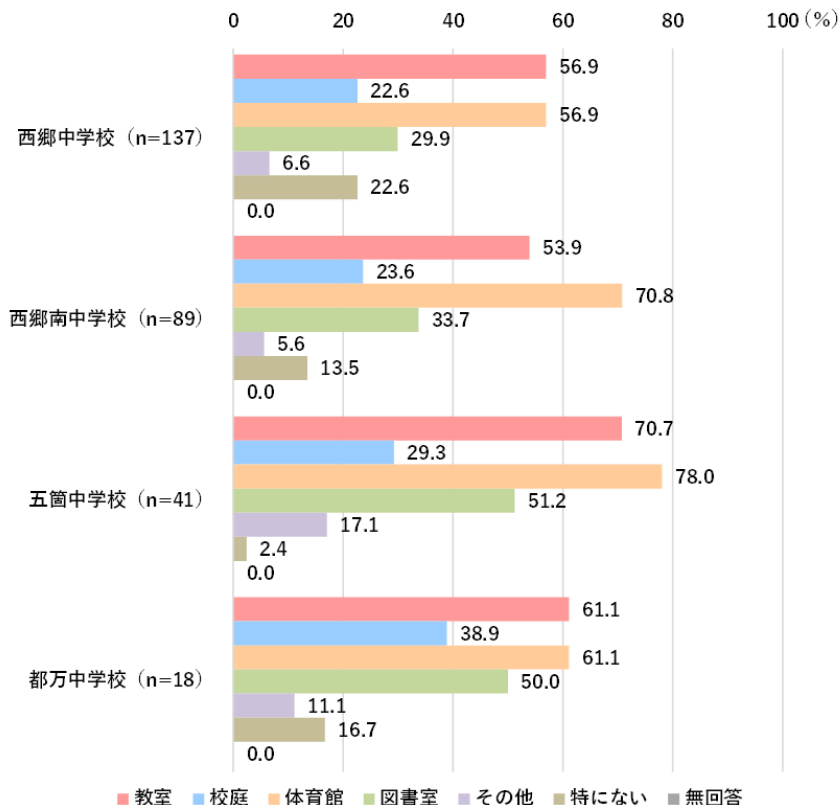
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

通っている学校のいい・好きなところ【校舎について】

■児童向け



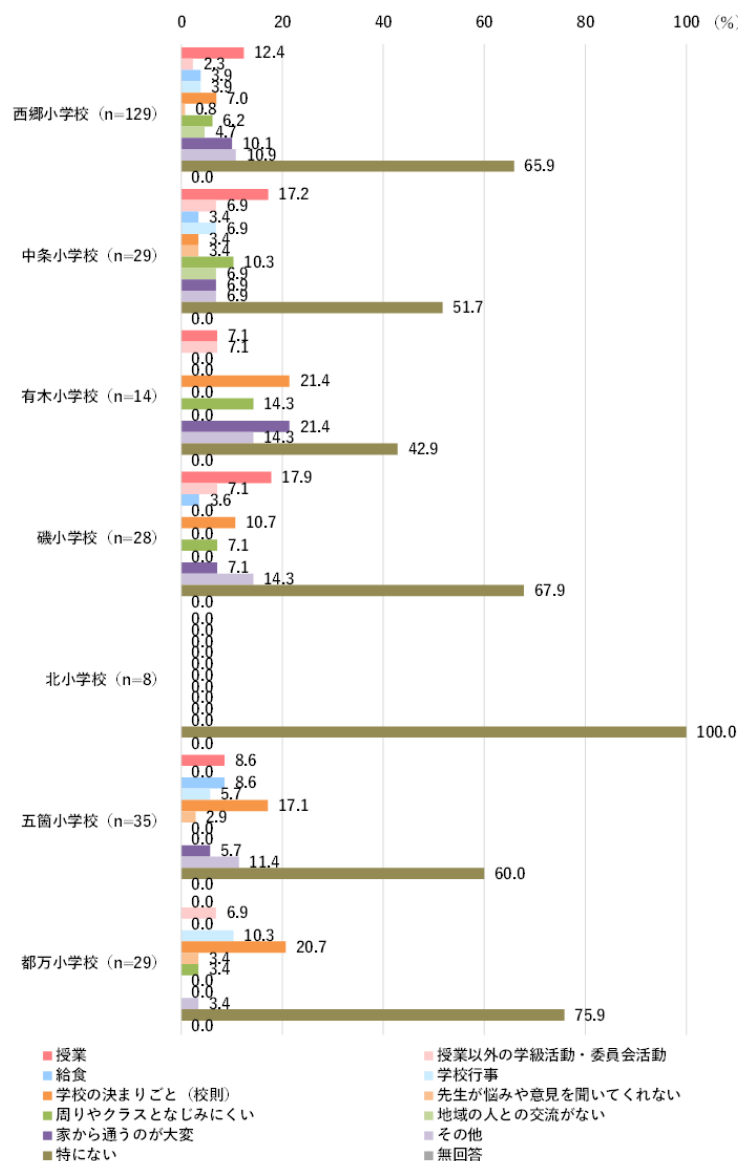
■生徒向け



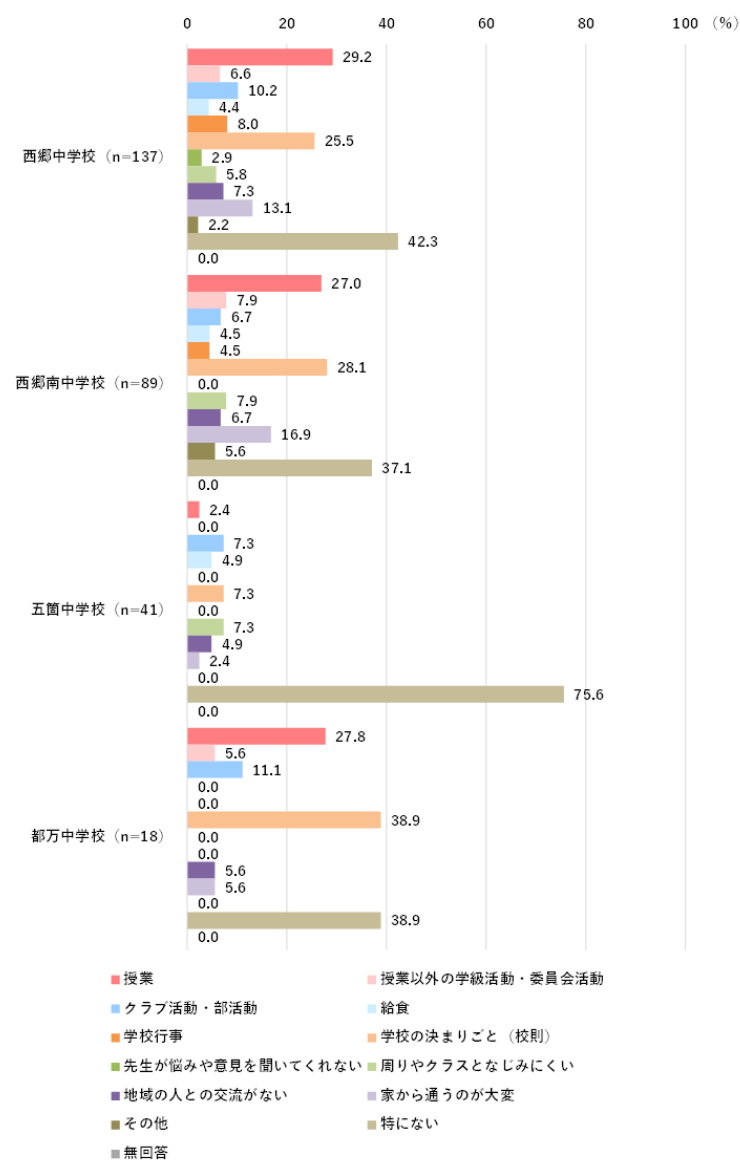
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

通っている学校で不便を感じる事・改善してほしい事【授業や行事などについて】

■児童向け



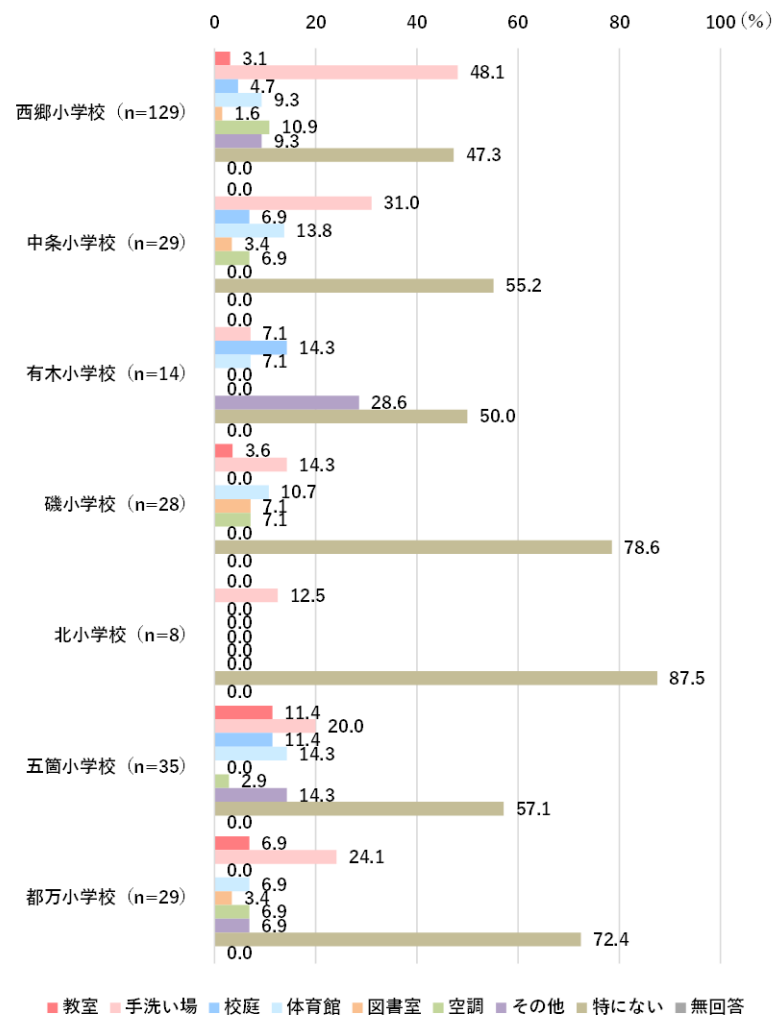
■生徒向け



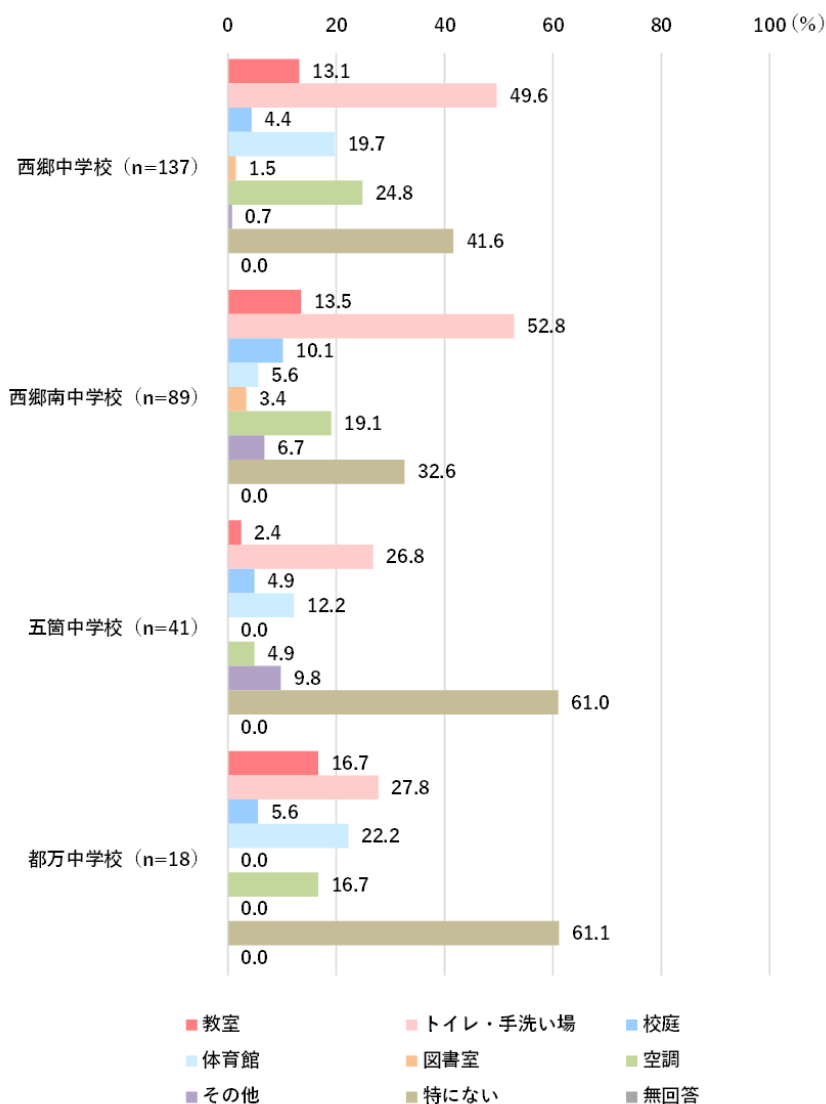
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

通っている学校で不便を感じること・改善してほしいこと【校舎について】

■児童向け



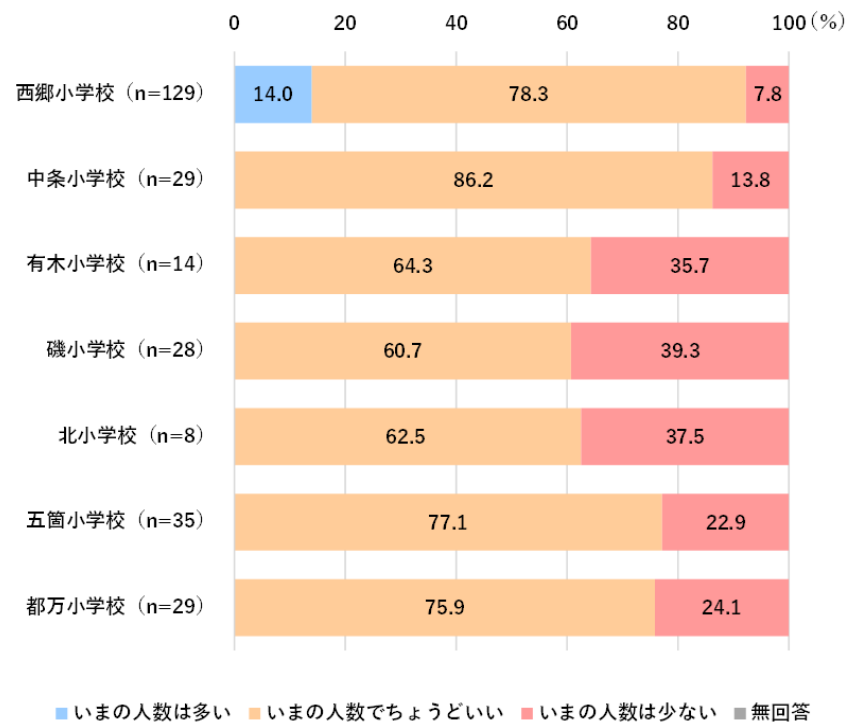
■生徒向け



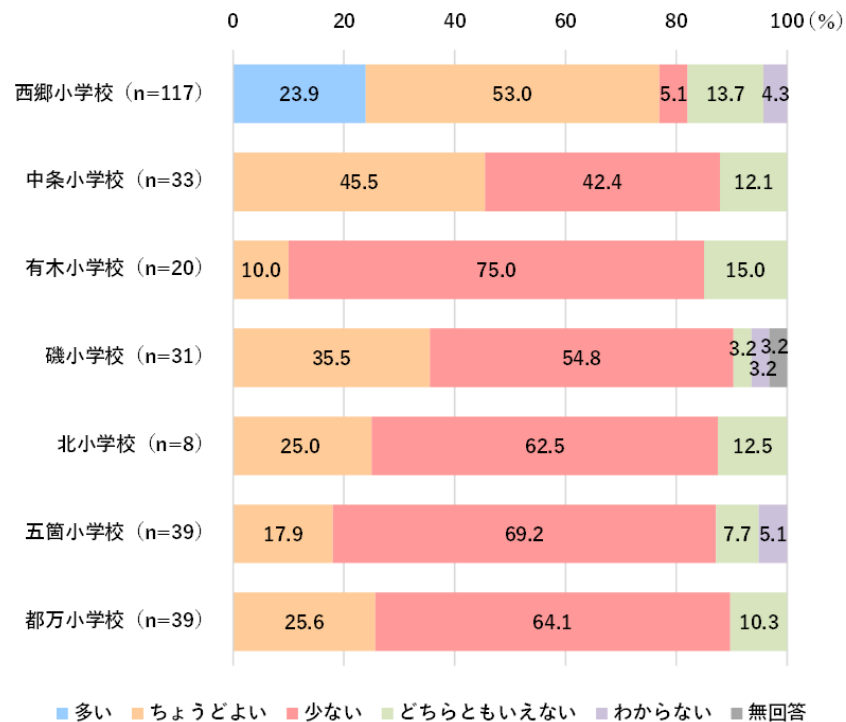
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

現在のクラスの人数

■児童向け



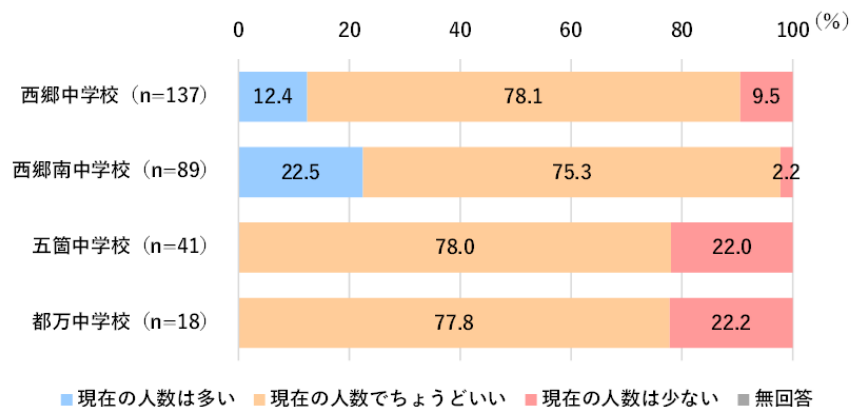
■保護者向け



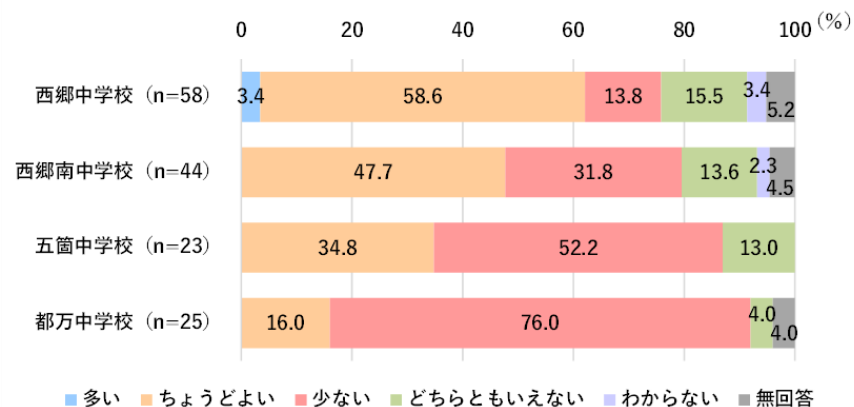
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

現在のクラスの人数

■生徒向け



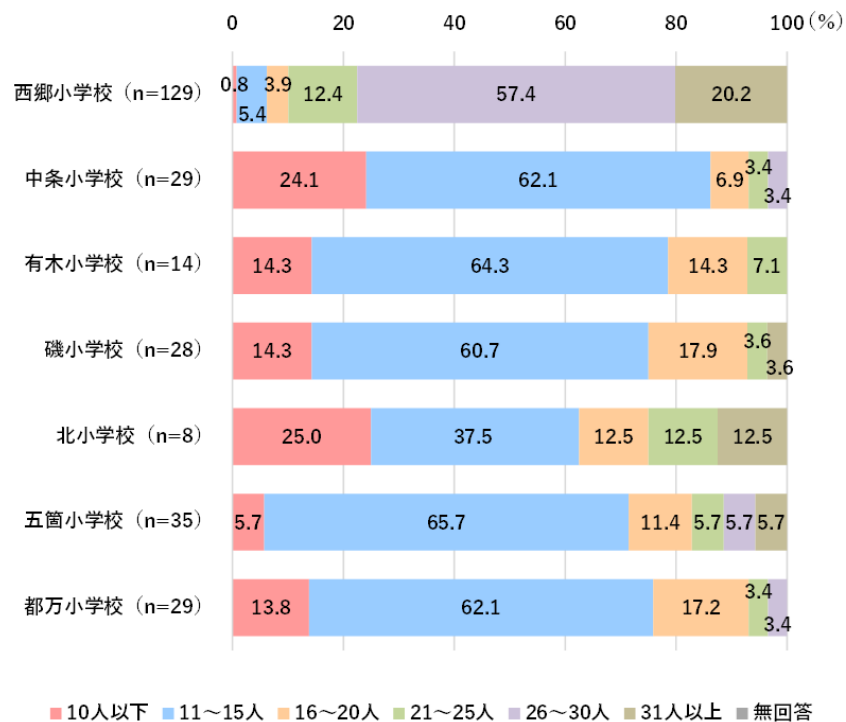
■保護者向け



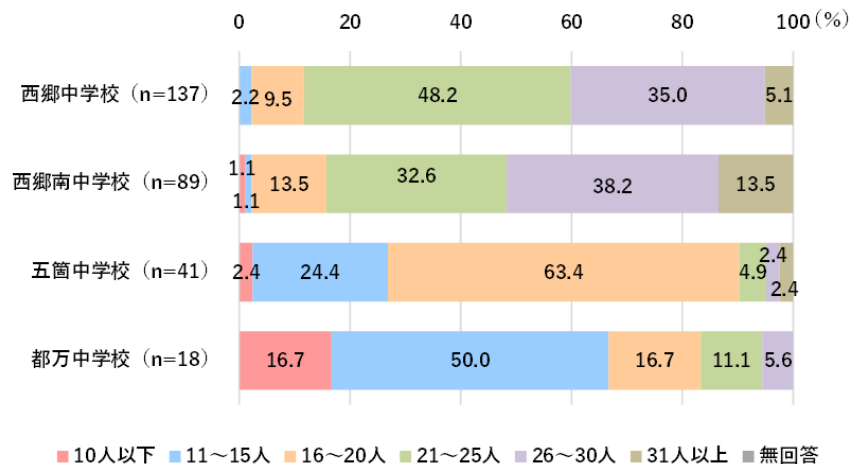
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

ちょうどいいと思うクラスの人数

■児童向け



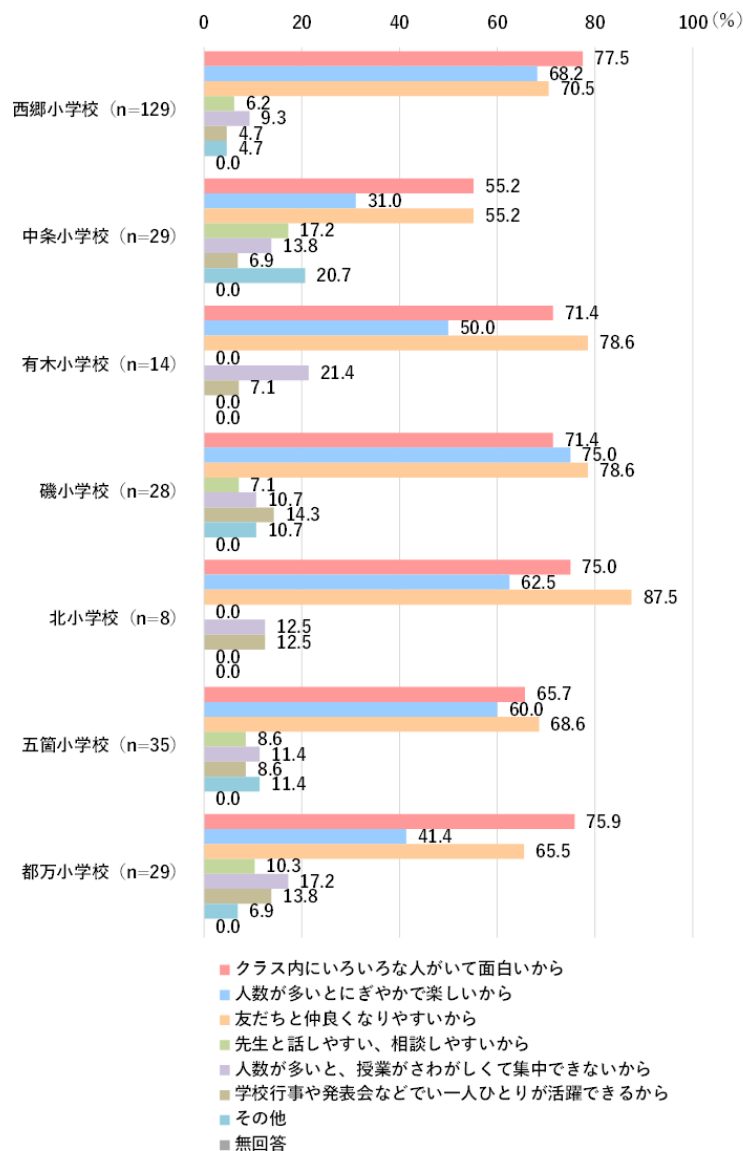
■生徒向け



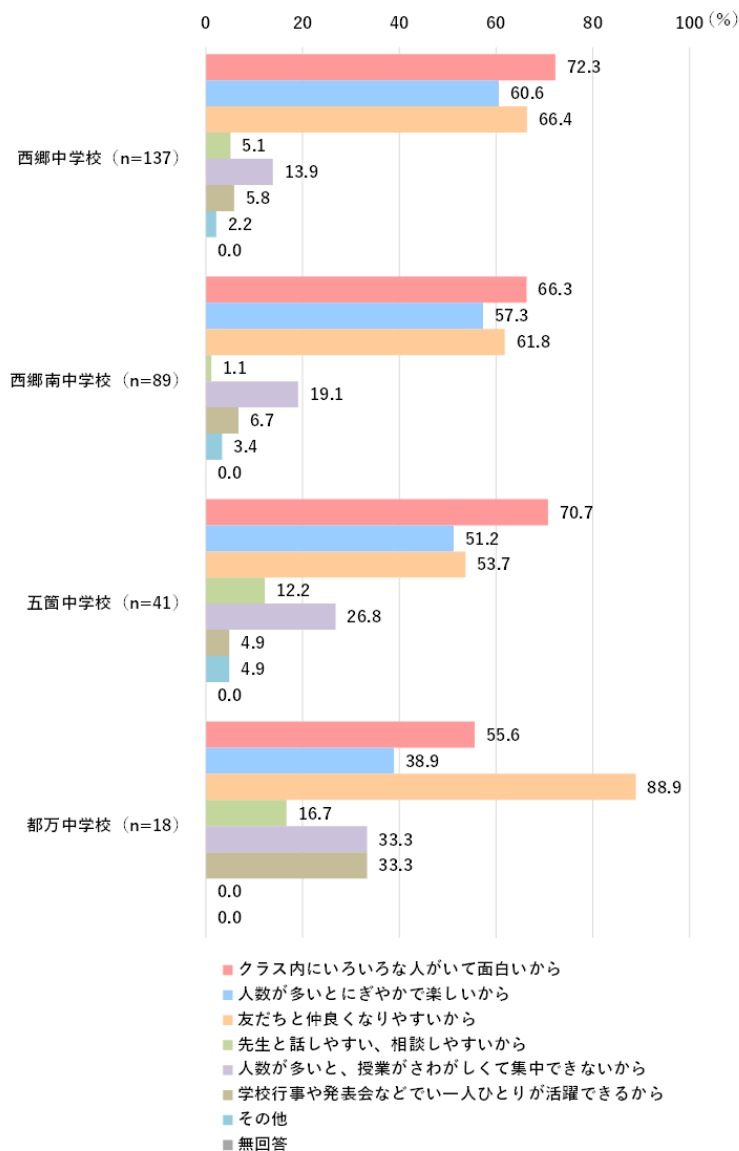
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

ちょうどいいと思うクラスの人数の理由

■児童向け



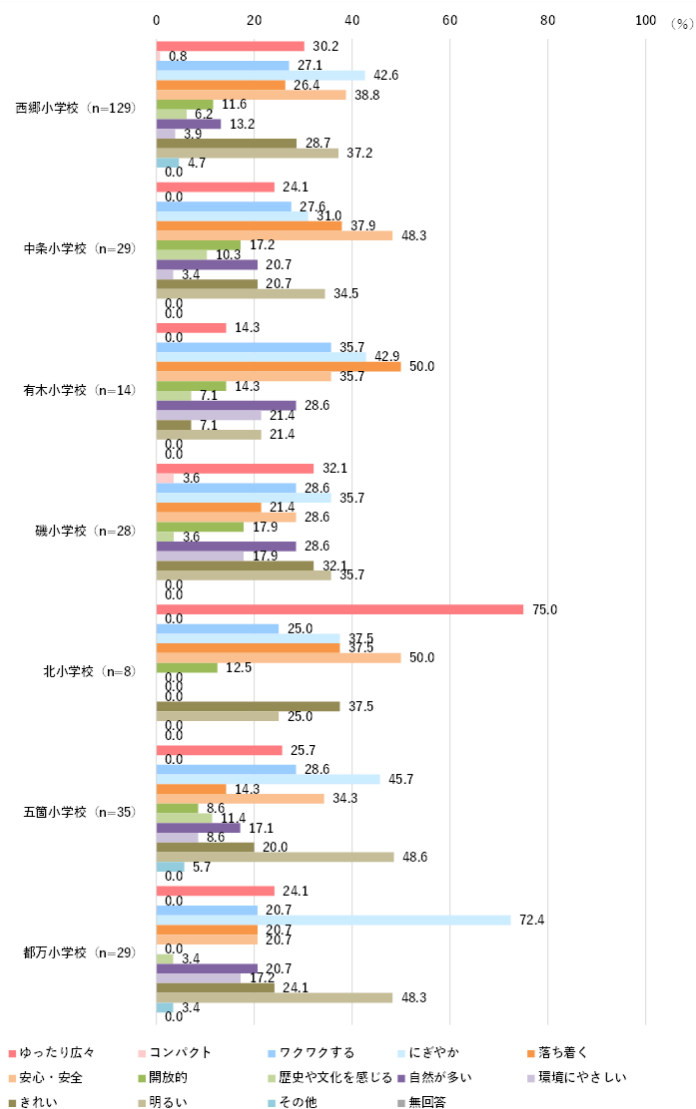
■生徒向け



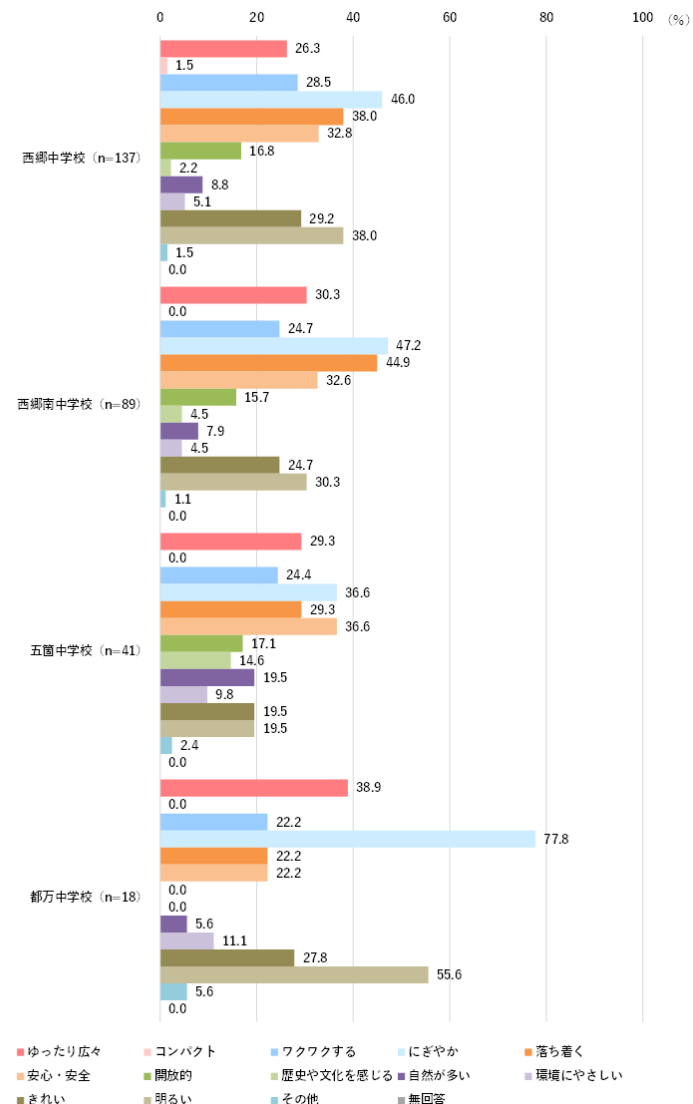
2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

学校に求める雰囲気

■児童向け



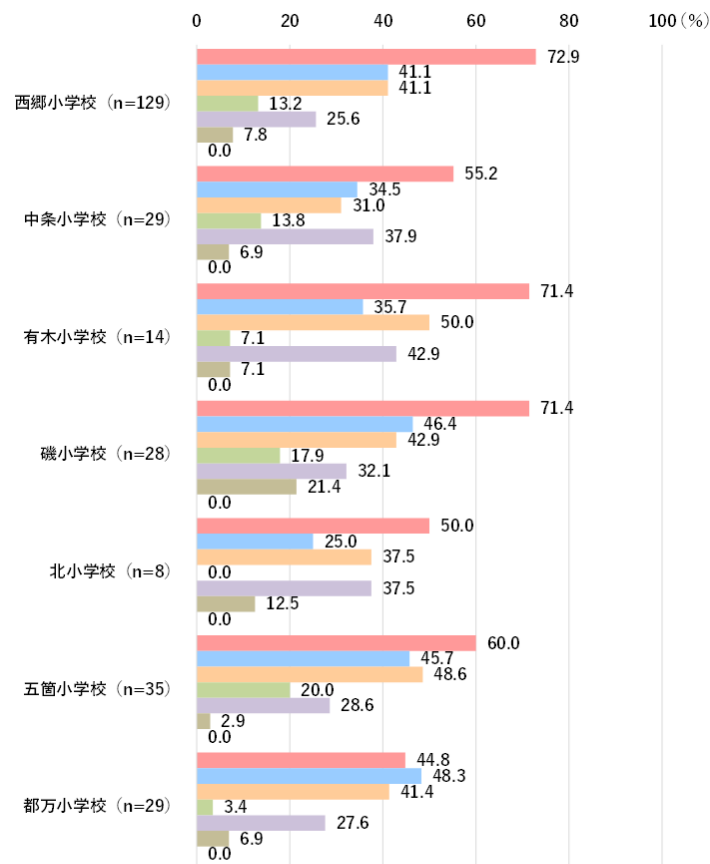
■生徒向け



2. 児童・生徒向けアンケート調査結果

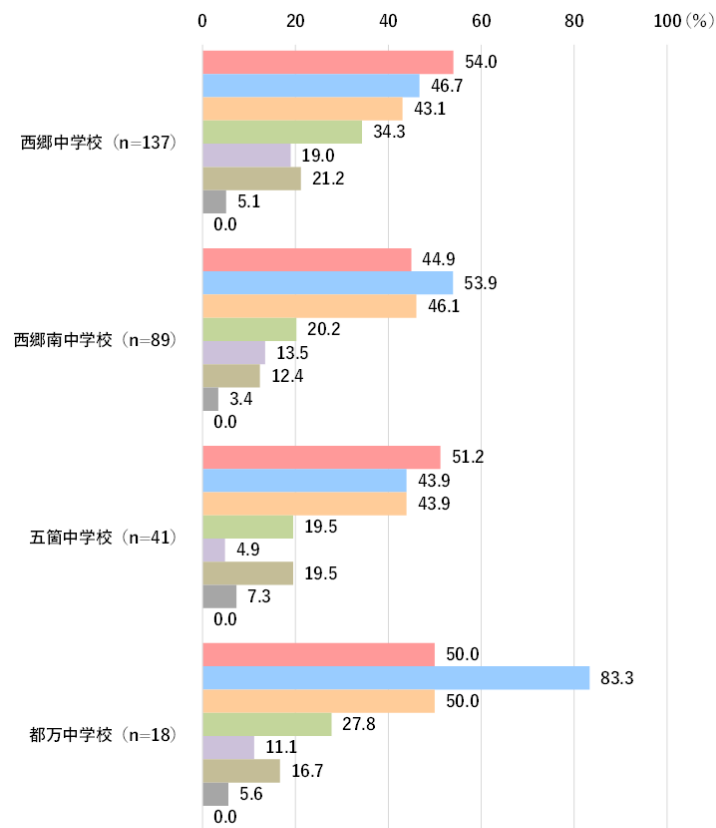
これからの学校に望むこと

■児童向け



- 体験学習を増やしてほしい
- 児童会活動や運動会などの学校行事がもっと盛んになってほしい
- 児童の数が増えて、にぎやかになってほしい
- 生徒の数が増えて、にぎやかになってほしい
- 児童一人ひとりに対し、先生が寄り添ってほしい
- 生徒一人ひとりに対し、先生が寄り添ってほしい
- 地域の人たちとの交流や学習
- その他
- 無回答

■生徒向け



- 体験学習を増やしてほしい
- クラブ活動・部活動の選択肢が増えてほしい
- 生徒会活動や運動会などの学校行事がもっと盛んになってほしい
- 生徒の数が増えて、にぎやかになってほしい
- 児童一人ひとりに対し、先生が寄り添ってほしい
- 生徒一人ひとりに対し、先生が寄り添ってほしい
- 地域の人たちとの交流や学習
- その他
- 無回答